

令和2年度 第2回学校評議員会 報告

1 日 時 令和3年2月24日（水） 14：00～15：20

2 会 場 大船渡東高等学校 応接室

3 意見を求めた事項

- (1) 学校経営について
- (2) 学習指導について
- (3) 進路指導について
- (4) 生徒指導について
- (5) 学校評価について

4 学校評議員からの意見・質問等（要点）

- 新型コロナウイルス感染症に対応した多様な対応が必要な中、部活動等成果が上がっている
- いじめアンケートについて、親に言えないものもあるはず、内容を細分化し、かみくだいて状況が把握できるものを考えて欲しい。
- 整容指導について、なぜだめなのか先生方と生徒で共有し相互理解の元に進めるべきもの。生徒の理解を得ながら、信頼をされる存在になって寄り添いながら、さらに社会情勢をみながら進めるべきである。
- 整容指導について、社会に出たら、やはり第一印象は重要である。なぜ、ダメなのか良く教えてほしい。
- 真面目で良い子が社会に出てうまくいくとは限らない。社会に出てもしじめがあったり、仕事が厳しいところもあるので、芯の強い生徒を育ててほしい。
- 進路目標の設定は、地域の産業とも関係が有る。目標が定まれば家庭学習時間も増えていくのではないか。
- 生徒の普段の状況が解らないので、普段の状況が見られるように気軽に、自由に学校に訪問できる機会があれば良い。
- 親はお手本となる。生徒の状況の背景に家庭が要因となっていると思われるので、小さいうちに相談が出来るような体制をつくってほしい。

質問① 前回職員の服装についてふさわしい服装をして欲しいとしていたが改善されたのかどうか

回答： 職員に心がけるよう周知している。

質問② 新型コロナウイルスの感染予防の中、部活動はどのようにすすめているか。

回答： 普段の活動、対外練習・試合など、その都度保護者からの承諾を得るなど確認しながら活動を続けている。